

本事業により目指すエリアのイメージ

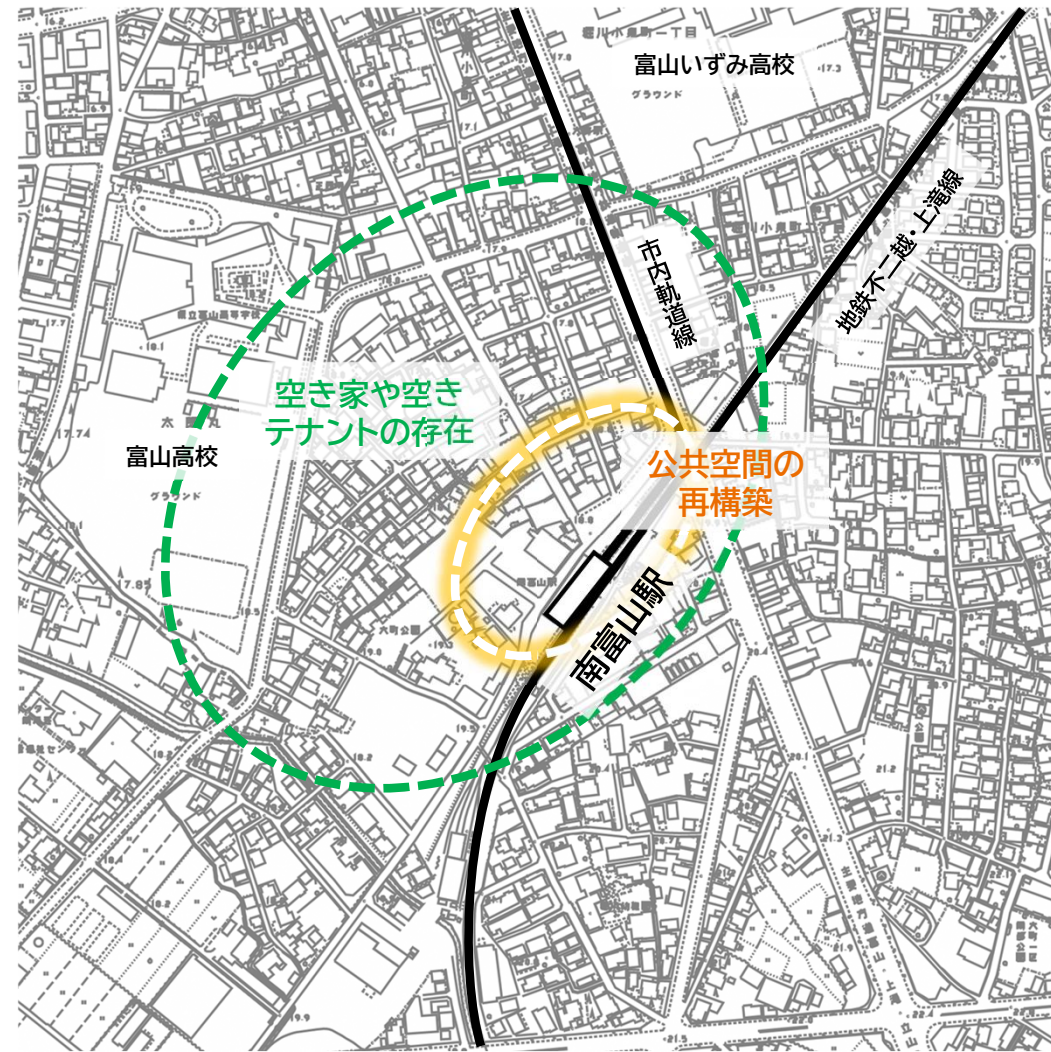
南富山駅周辺は、大正4年に延伸した市内軌道や鉄道が結節する南富山駅を中心に、中学校や高校などが立地する文教地区として発展し、駅前商店街や住宅地による景観が形成されてきたが、近年は高齢化等に伴い、空き家や空きテナントが散見され、まちの風景であった人の営みが失われつつある。

現在、市民や関係者との対話を重ね、南富山駅周辺まちづくりビジョンや基本計画を策定し、拠点性の強化に向けた駅前広場等の再構築を進めており、これに連動しながら、豊かな近隣環境や生活圏を形成する取組が求められている。

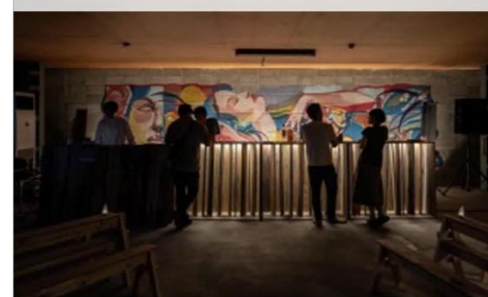
こうした中、民による既存建物の暫定活用やまちづくり団体が主体となった小・中・高等学校との地域学習活動などが動き出しており、これらを契機として既存のまち並みに営みを取り戻し、新たな駅前の景観と調和した拠点の再生を目指す。

参考) <https://www.city.toyama.lg.jp/shisei/machizukuri/1015125/1014091.html>

南富山駅周辺を俯瞰した街並み



既存建物の暫定活用(サロン)



公共空間の再構築イメージ

